

# 家庭科年間指導計画

## 第6学年

### 学習目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気づくようにする。
- (2) 製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身につけ、自分の身の回りの生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

### 授業の工夫

児童が家庭科の学習は「楽しいもの」「役に立つもの」という実感を持つことができるような授業を心がけていきたいと思えます。そのために身近な問題を取り上げるとともに、縫うことの実習や調理実習など実践的・体験的な活動を多く取り入れていきます。また、栄養教諭とも連携し、今まで食育で培ってきたことから学習に生かせるように支援していきます。

### 年間授業計画

月	単元名	時数	
4 5	生活時間を見直してみよう 1. 見直そう！毎日の食事 どんな食べ物を食べているのかな ごはんのみそしるをつくろう おかずの必要性を考えよう	12	<p>【評価の観点】 【家庭生活への関心・意欲・態度】 衣食住や家庭の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。</p> <p>【生活を創意工夫する能力】 家庭生活について見直し、身近な生活の課題を見つけ、その解決を目指して考え、自分なりに工夫する。</p> <p>【生活の技能】 衣食住や家庭生活の生活に必要な基礎的な技能を身につけている。</p> <p>【家庭生活についての知識・理解】 衣食住や家族の生活に関する基礎的な事項について理解している。</p>
6 7 9	2. つくろう！さわやか生活 暑い季節を気持ちよくすごそう 衣服の着方を考えよう 衣服の手入れをしよう 生活に役立つものをつくろう	12	
10 11	3. まかせてね！きょうのごはん 食べ物の組み合わせを考えよう 家族の喜ぶおかずをつくろう 楽しい食事をくふうしよう	11	
12	4. くふうしよう！季節に合う暮らし 季節に合う暮らしを考えよう 快適な住み方をくふうしよう	9	<p>【評価の方法】 単元ごとのテストや制作物を中心に、製作・実習の時の態度、授業中の発表や態度など普段の学習の様子を加味して評価します。</p>
1 2	5. 伝えよう！ありがとうの気持ち できるようになったことを振り返ろう 家族へ地域へふれあいを広げよう わたしの気持ちを伝えよう	11	
3	これからの生活に向けて		
年間授業時数		55	